

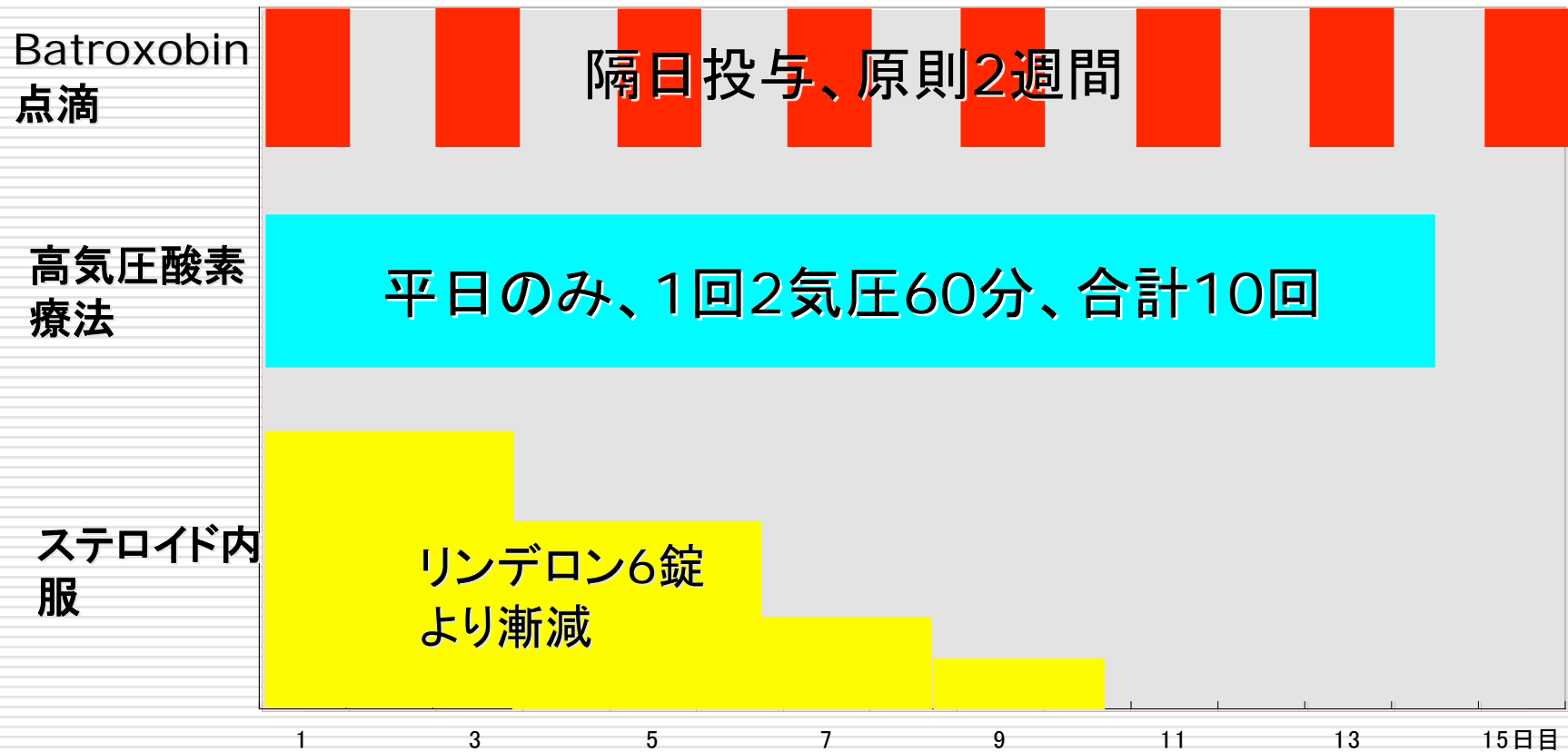
はじめに

当科では突発性難聴に対し、batroxobin(デフィブラーゼ®)点滴、副腎皮質ステロイド(リンデロン®)内服、高気圧酸素療法の3者同時併用療法を行っている。

今回我々は、平成17年1月～平成19年3月に当科で入院加療した(少なくともbatroxobin投与した)低音障害型を除く突発性難聴症例390例について、Grade分類別に治療成績を検討した。

治療方法

年齢、症状、合併症の有無により、適宜増減、中止している。



突発性難聴の重症度分類(厚生労働省急性高度感音難聴研究班)

Grade 1: 初診時聴力が40dB未満

Grade 2: 初診時聴力が40dB以上60dB未満

Grade 3: 初診時聴力が60dB以上90dB未満

Grade 4: 初診時聴力が90dB以上

* 聴力は250,500,1000,2000,4000Hzの5周波数の閾値の平均値とする。

聴力回復の判定基準(厚生省急性高度感音難聴調査研究班)

治 癒: ①250, 500, 1000, 2000, 4000Hzの聴力レベルが
20dB以内に戻ったもの

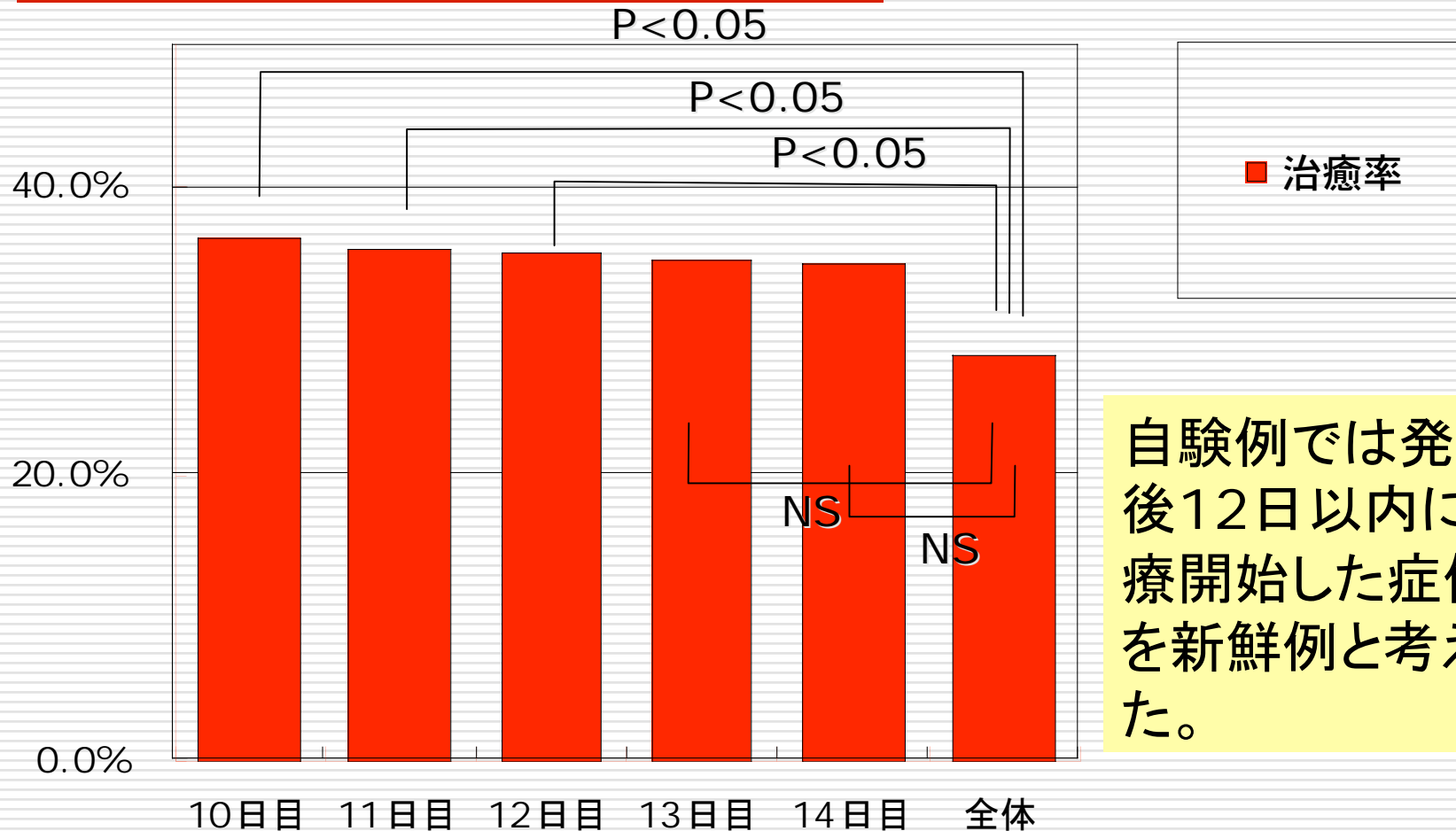
②健側聴力が安定と考えられれば、患側がそれと同程
度まで改善したとき。

著明改善: 上記5周波数の算術平均値が30dB以上改善したと
き。

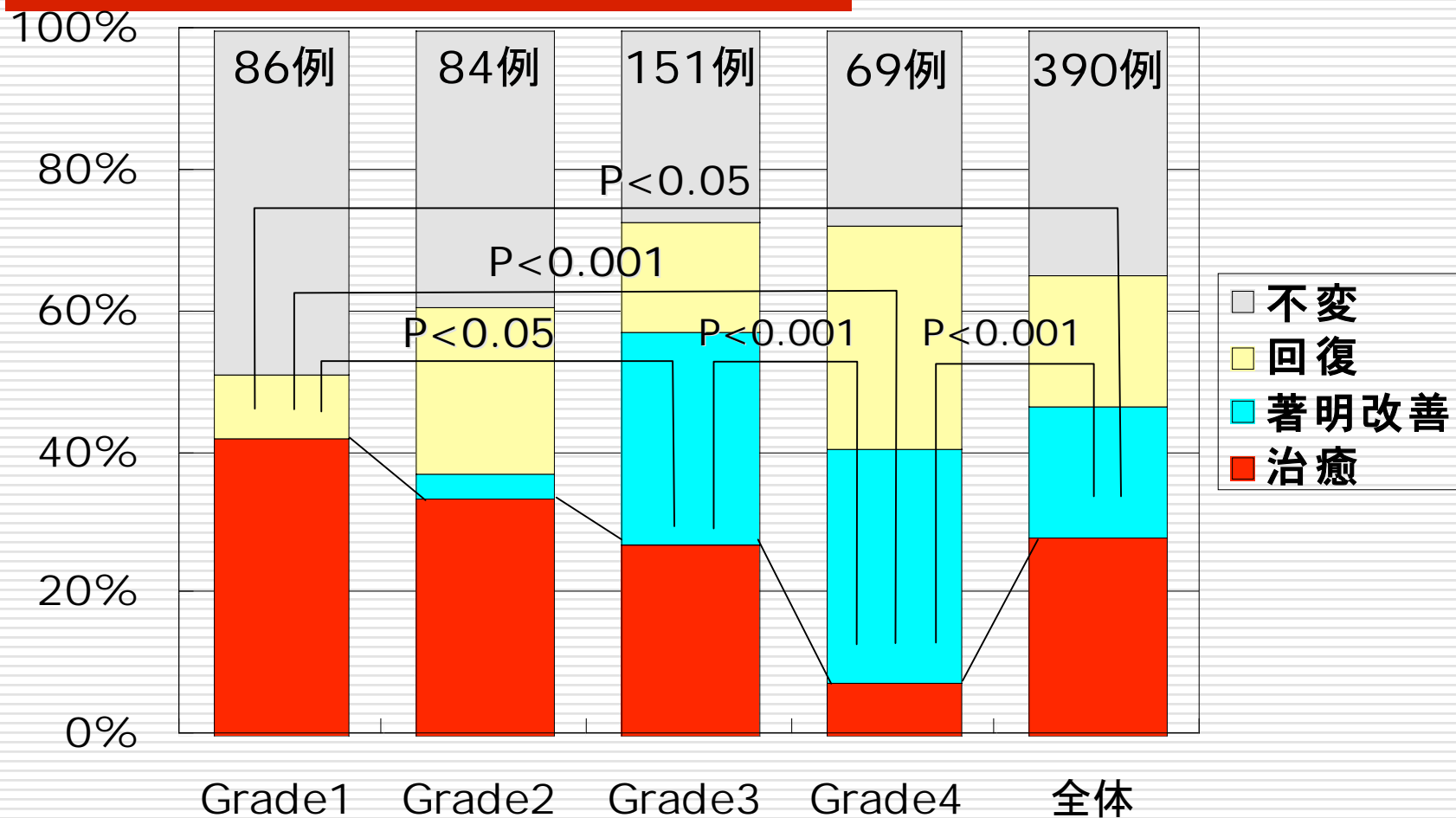
回 復: 上記5周波数の算術平均値が10~30dB未満改善し
たとき。

不 変: 同じくこの値が10dB未満の変化のとき。

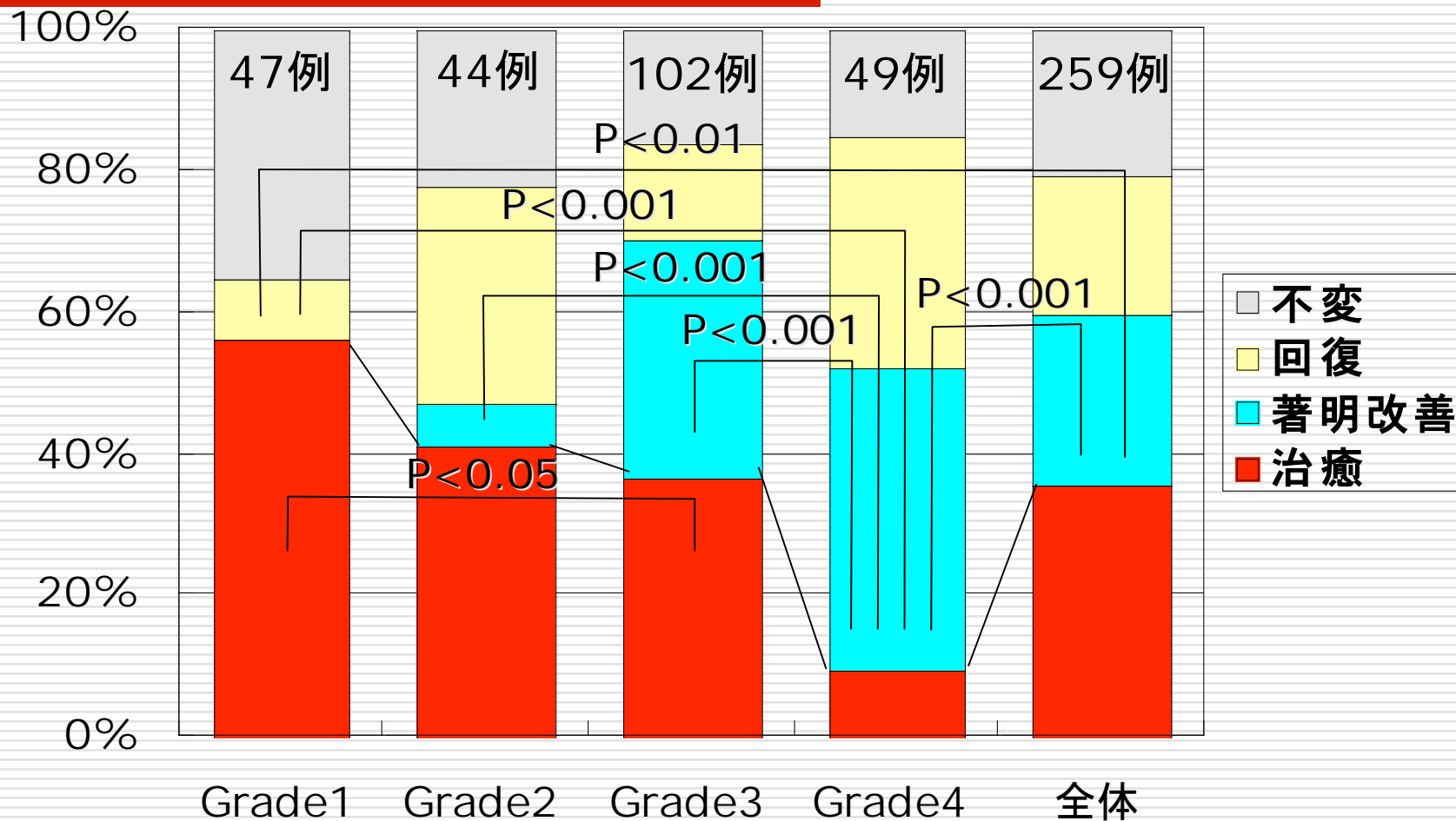
発症から治療開始までの日数と治癒率 →新鮮例と陳旧例のカットラインの決定



Grade別治療成績(全症例)



Grade別治療成績(発症12日以内)



結果

- 発症後12日以内の治療開始例で有意に治癒率が高かった。
- 軽症例ほど治癒率が良かった。
- Grade3の治癒率はGrade2と有意差は見られないほど良好であった。

他報告との比較

| | 症例数 | カット イン | ラ 統計 学的 処理 | 治癒率 | 低音障害型を 含むか？ | 治療 |
|---------------|------|-----------|---------------------|--------------------------|-----------------------|--------------------------------|
| 清水ら (1998) | 146例 | 14日 | ○ | 44.6% (発症2週間 以内のみ) | 含まず | ステロイド ATP |
| 浅田ら (1998) | 28例 | 7日 | × | 14.2% | | ステロイド PGE1 |
| 渡辺ら (1998) | 97例 | 7日 | ○ | 47.4% | (Grade III, IV のみ) | ステロイド PGE1 |
| 村川ら (2000) | 522例 | 14日 | ○ | 19.7% | 含む | ステロイド 高気圧酸素療法 |
| 村川ら (2004) | 141例 | 7日 | × | 29.1% | 含まず | ステロイド |
| 鎌倉ら | 390例 | 12日 | ○ | 28.2% | 含まず | Batroxobin ステロイド 高気圧酸素療法 |

まとめ

- 当科の突発性難聴390例(低音障害型を除く)について、治療成績を比較検討し良好な治療成績を得られた。
- 発症後12日以内に治療開始した症例で有意に治療率が向上した。
- Grade I ~ IIIの治療率が非常に良好であった。